

# 北九州空港のあゆみ

HISTORY OF KITAKYUSHU AIRPORT











# 1944~1977

昭和19年~昭和52年

1944  
1977

## 旧北九州空港の誕生

- 1944(昭和19年) \_\_\_\_\_  
9月 | 旧北九州空港が陸軍曾根飛行場として建設される
- 1945(昭和20年) \_\_\_\_\_  
8月15日 | 終戦に伴い、米軍が接收
- 1953(昭和28年) \_\_\_\_\_  
12月15日 | 米軍の接收が解除され、「小倉空港」となる
- 1956(昭和31年) \_\_\_\_\_  
5月15日 | 日本ヘリコプター(全日空)が、小倉~大阪の定期路線を開設
- 1958(昭和33年) \_\_\_\_\_  
7月 3日 | 空港整備法に基づく第2種小倉空港として政令指定
- 1964(昭和39年) \_\_\_\_\_  
6月 | 小倉~東京便、F27機にて就航
- 1966(昭和41年) \_\_\_\_\_  
11月 | 小倉~大阪便、YS-11にて就航

## 周防灘大規模総合開発構想の時代

- 1968(昭和43年) \_\_\_\_\_  
1月 | 新全国総合開発計画に対する北九州市の考え方を取りまとめ、経済企画庁に提出  
[北九州都市圏の戦略的大規模開発事業の一つとして、初めて「北九州海上国際空港の建設」を盛り込む]
- 1969(昭和44年) \_\_\_\_\_  
5月30日 | 「新全国総合開発計画」が閣議決定される  
[「わが国における本(九州)地方の地理的条件を考慮して、国際空港の建設を図る。」と記述されている]
- 6月12日 | 周防灘総合開発促進協議会が設立される  
[周防灘大規模総合開発構想の中で「周防灘国際空港」が描かれる]



日本ヘリコプター輸送 (1956年頃)

## 四建山下構想~大型貨物空港構想の時代

- 1971(昭和46年) \_\_\_\_\_  
10月 | 北九州市が旧空港に代わる新空港の建設を国に要望
- 11月 | 運輸省第四港湾建設局(四建)が、新空港試案(「周防灘空港について」)を作成  
[以後、四建が新空港について調査を開始]
- 1974(昭和49年) \_\_\_\_\_  
5月24日 | 新空港構想について大型貨物空港とすることで、福岡県知事と北九州市長が合意  
[滑走路については、当面3,000m級とする  
旧空港沖合約10kmの周防灘海上を候補とする]

## 旧北九州空港代替の2種空港構想へ転換

- 1976(昭和51年) \_\_\_\_\_  
2月 2日 | 苅田沖土砂処分場埋立申請  
[埋立用途は「公園緑地」、「環境開発実験場用地」]
- 1977(昭和52年) \_\_\_\_\_  
7月 | 苅田沖土砂処分場着工
- 9月8日 | 福岡県知事と北九州市長が新空港構想を次のとおり変更することで合意  
[規模:2,500m級の標準的な第2種空港  
位置:諸条件の許す限り陸域に近い周防灘海上]



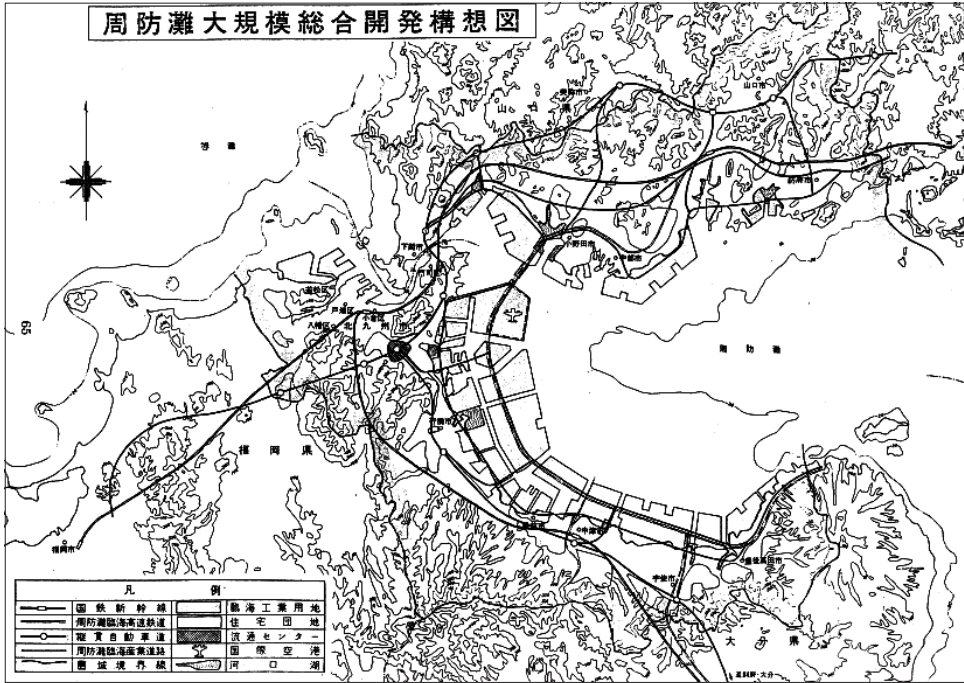
1956年頃の旧北九州空港



全日本空輸 (1958年頃)



全日本空輸 (1958年頃)



周防灘大規模総合開発構想図



新北九州空港(仮称)パンフレット作成  
(1976年3月)



1972年頃の旧北九州空港



苅田沖土砂処分場完成予想図



関門航路、新門司航路、苅田港航路の浚渫土砂処分場として、  
苅田沖土砂処分場の第1期工事着工(1977年7月)

# 1978~1991

昭和53年~平成3年

1978  
1991

## 新北九州空港建設促進期成会設立以降

1978(昭和53年)

7月 3日 | 新北九州空港建設促進期成会設立

1980(昭和55年)

3月 5日 | 運輸省航空局長、新空港の空域調整について調査することを表明

8月 | 運輸大臣、第4次空港整備五箇年計画の運輸省原案に新空港の実施設計調査費が計上されていることを表明

1981(昭和56年)

12月 | 第4次空港整備五箇年計画閣議決定に際し、新空港が2,500m級の新規事業として採択される

1982(昭和57年)

7月 1日 | 新北九州空港推進本部を設置(福岡県・北九州市・苅田町)

7月 8日 | 運輸省航空局長、新空港の空域調整はMLS(マイクロ波着陸方式)を採用すれば可能であると表明

12月27日 | 運輸大臣、新空港の開港時期について昭和65年度を目標に努力したい旨表明

1983(昭和58年)

9月30日 | 旧北九州空港の定期便が大阪便を最後に運航休止

1985(昭和60年)

12月 | 中央港湾審議会で新門司沖土砂処分場計画について承認

1986(昭和61年)

3月19日 | 北九州圏域出身の県議会議員32名が「新北九州空港建設促進福岡県議会議員連盟」を結成

3月 | 福岡県、北九州市、苅田町の三議会が「新北九州空港の早期着工に関する意見書」を国に提出

10月 1日 | 新北九州空港建設推進本部促進班を設置

11月 | 第4次空整に引き続き第5次空整においても採択新北九州空港推進本部が新北九州空港計画(地元案)を発表

1987(昭和62年)

6月 | 第4次全国総合開発計画で新北九州空港の建設が明記される  
[新北九州空港、(中略)の建設により]  
[航空輸送能力の向上を図る]

12月22日 | 新北九州空港早期建設促進福岡県議会議員連盟発足

1988(昭和63年)

1月11日 | 新北九州空港早期建設促進北九州市議会議員連盟発足

1月30日 | 苅田町議会空港建設対策特別委員会設置

3月9日 | 運輸省航空局長が衆議院予算委員会において、新北九州空港の建設場所および開港時期について初めて公式見解を発表  
[その立地については、周防灘海域がすぐれており、投資効率の面から考えてもすでに造成・計画中の土砂処分場を活用するのが最も適当であり、開港は70年代半ば]

3月10日 | 新北九州空港建設促進国会議員連盟発足

3月29日 | 日米大型公共事業合意の中で、新北九州空港ターミナルビルが該当プロジェクトとして明記される

4月25日 | 第四港湾建設局長が北九州市長に旧空港を再開し、東京~北九州間の定期空路を開通するよう申し入れ

1989(平成元年)

1月30日 | 豊前海区漁業協同組合長会が新門司沖土砂処分場建設に係る漁業補償交渉に応じることを表明

3月25日 | 第四港湾建設局長が、福岡県知事、北九州市長、苅田町長出席のもと、土砂処分場に係る事業説明会を開催  
[漁業補償交渉の進め方、土砂処分場の土地利用計画は] 空港とすること等を提案

5月 1日 | 北九州エアターミナル株式会社設立

8月 | 旧北九州空港の滑走路延長工事で着工(1,500m→1,600m)

9月26日 | 福岡県知事、土砂処分場の建設と新空港建設にかかる漁業補償の一括補償を提案

1990(平成2年)

8月 | 運輸省、平成3年度政府予算概算要求で、新北九州空港の実施設計調査費を要求

9月 7日 | 運輸省第四港湾建設局、福岡県、北九州市、苅田町が「新門司沖土砂処分場の建設及び新北九州空港建設に係る四者連絡会議」を設置

12月 | 空域問題等の未解決を理由に、新北九州空港の実施設計調査費の政府予算計上が見送られたが、運輸事務次官が新門司沖土砂処分場の埋立用途を「飛行場」とすることを表明

1991(平成3年)

7月 | 福岡県議会が国際空港誘致対策等調査特別委員会を設置

1月21日 | 豊前海区17漁協、漁獲量調査等、補償金算定に必要な調査の実施に合意

3月27日 | 新ターミナルビル完成  
旧北九州空港滑走路延長工事了り・定期便再開(北九州~東京)

4月11日 | 旧北九州空港初の国際チャーター便運航

11月 | 第5次空整に引き続き第6次空整においても採択

11月18日 | 福岡県知事、北九州市長、苅田町長が防衛庁教育訓練局長に空域問題の早期解決を陳情

11月26日 | 新北九州空港建設促進国会議員連盟が防衛庁教育訓練局長に空域問題の早期解決を要請

12月24日 | 福岡県議会、福岡県防衛議員連盟が防衛庁長官に空域問題の早期解決を陳情



苅田沖土砂処分場 (1979年7月)



運航休止前のYS-11 (1982年頃)





新北九州空港建設促進期成会設立総会（1978年7月）



亀井福岡県知事（当時）



谷北九州市長（当時）



新北九州空港計画  
（1986年11月）



新北九州空港建設促進期成会役員が土砂処分場を視察（1987年8月）



旧北九州空港滑走路延長工事竣工式（1991年3月）



滑走路延長工事が完了した旧北九州空港（1991年頃）



定期便（北九州～東京）再開（1991年3月）



当時の  
パンフレット

# 1992~1994

平成4年～平成6年

1992  
1994

## 新北九州空港整備事業着工までのあゆみ

### 1992(平成4年)

- 1月22日 新北九州空港早期建設促進北九州市議会議員連盟が防衛庁教育訓練局長に空域問題の早期解決を陳情
- 3月27日 地元経済界が中心となり、新北九州空港建設促進協力を設立
- 4月10日 北九州自衛隊協力会(会長代行:高田賢一郎)が防衛庁長官に、新北九州空港の空域調整を陳情
- 4月25日 豊前海区漁業協同組合組合長会に対して、対象事業である新門司沖土砂処分場等の事業概況について、第1回説明会を開催
- 5月15日 運輸省第四港湾建設局が、予定していた新門司沖土砂処分場の環境影響評価手続きを、防衛庁の中止要請により延期
- 6月11日 新北九州空港建設促進協力が建設大臣に空域問題解決への協力を要請
- 7月2日 自民党金丸副総裁、新北九州空港の調査費計上を明言  
新北九州空港関連の初めてのシンポジウムとして「港湾・空港シンポジウムin北九州」を開催
- 8月7日 新北九州空港と海上自衛隊小月基地の空域問題に関して、防衛庁と運輸省が新北九州空港の滑走路を南北方向とすることで合意
- 8月 運輸省が平成5年度政府予算概算要求で、新北九州空港の実施設計調査費1億円を要求
- 9月11日 運輸省第四港湾建設局が新門司沖土砂処分場に係る環境影響評価準備書の縦覧、地元説明会を開催
- 10月7日 運輸省第四港湾建設局が苅田沖・新門司沖土砂処分場の愛称を「は～とぼ～と21」に決定
- 11月 北九州活性化協議会内に「新北九州空港に関する研究会」発足
- 12月 実施設計調査費1億円が政府予算案で認められる

### 1993(平成5年)

- 4~5月 運輸省が空港整備事業に係る環境影響評価基準書の縦覧、地元説明会を開催
- 8月30日 豊前海区漁業協同組合長会と第四港湾建設局・福岡県・北九州市・苅田町が新北九州空港・新門司沖土砂処分場・海上連絡橋及び苅田港整備に係る漁業補償(共同漁業権分)について合意
- 11月22日 空港整備事業にかかる環境アセスメント手続き終了
- 12月17日 北九州市、苅田町間で新空港予定地における境界について合意

### 1994(平成6年)

- 1月14日 新北九州空港が第2種空港として政令指定される
- 2月12日 漁業補償最終決着
- 2月14日 運輸省第四港湾建設局が新門司沖土砂処分場の埋立と苅田沖土砂処分場の用途変更を申請
- 2月18日 運輸省第四港湾建設局が新北九州空港の建設予定海域でボーリング調査を開始
- 4月13日 福岡県知事、北九州市市長が運輸大臣、建設大臣に埋立許可申請
- 10月13日 運輸・建設大臣埋立許可
- 10月14日 福岡県知事、北九州市市長が、運輸省第四港湾建設局に対して埋立承認
- 10月28日 新北九州空港整備事業着工



新北九州空港建設促進協力の設立総会で挨拶をする安川代表理事(当時)  
(1992年3月)



新北九州空港に係る漁業補償について確認書調印式(1993年8月)



平成5年度 新北九州空港建設促進期成会総会(1993年10月)



航空法第39条に基づき公聴会開催(1993年)



新北九州空港政令指定記念祝賀会（1994年3月）



漁業補償解決を受け、運輸省第四港湾建設局が埋め立ての承認を出願(1994年2月)



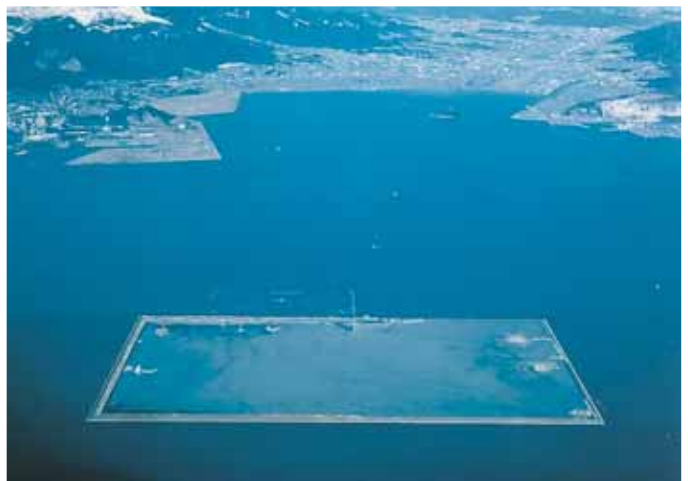
新北九州空港建設予定海域でボーリング調査着手（1994年2月）



新門司沖土砂処分場及び新北九州空港の整備事業（は〜とぼ〜と21）起工式典（1994年10月）



新北九州空港整備事業着工（1994年10月）



1994年当時

# 1995~2001

平成7年~平成13年

1995  
2001

## 新北九州空港着工~ (新生)新北九州空港推進協議会発足

1996(平成8年)

5月13日 | 地元財界により、新北九州推進協議会設立

1997(平成9年)

5月20日 | 新北九州空港連絡道路着工

1999(平成11年)

9月24日 | 台風18号により、新北九州空港の東側護岸が倒壊

2000(平成12年)

5月17日 | 上海への初チャーター実施

7月 | 東京便増便1日3往復運航

2001(平成13年)

7月 | 運用時間延長(7:00~21:30)

7月2日 | 中国南方航空による初めてのチャーター便運航

8月21日 | ロシア・ウラジオストク航空による  
初のウラジオストクチャーター実施

9月17日 | 第1回新北九州空港ターミナルビル構想検討会議

10月11日 | 釜山への初チャーター実施

11月9日 | 新北九州空港建設促進協会と  
新北九州空港推進協議会が統合し、  
(新生)新北九州空港推進協議会が発足



旧北九州空港利用者50万人達成 (1995年7月)



は〜とぼ〜と21事業 1・2号函進水式 (1995年8月)



新北九州空港連絡道路建設工事起工式 (1997年5月)



旧北九州空港定期便再開5周年 (1996年3月)



第1工区護岸工事概成、埋立開始(1996年当時)



新北九州空港連絡橋工事 (1999年10月)



中国・大連へのチャーター便（2001年7月）



中国南方航空チャーター便（2001年7月）



(新生)新北九州空港推進協議会発足（2001年11月）



第1回 新北九州空港ターミナルビル構想検討会議（2001年9月）



ウラジオストク航空チャーター便  
（2001年8月）



埋立工事現場（2000年8月）



空港島（2000年12月）

# 2002~2004 平成14年~平成16年

2002  
2004

## 空港・連絡橋の整備、旅客ターミナルビル着工

2002(平成14年)

- 4月 新北九州空港ターミナルビルのコンセプトがまとまる  
《進化・成長するターミナルビル》  
《小さく産んで大きく育てる》  
《西日本のメインポートへ飛翔するターミナルビル》
- 5月11日 北九州市内で開かれた  
小泉内閣のタウンミーティングで、  
石原行革担当相が、新北九州空港を、  
北部九州の基幹空港として  
広域的に育てる必要がある、と発言
- 6月20日 福岡県知事が新北九州空港連絡橋の通行料は  
無料が望ましいと発言
- 7月24日 国土交通省が新北九州空港整備事業を再評価  
需要予測を修正  
東京便増便、1日4往復
- 12月20日 国の平成14年度補正予算案で、新北九州空港の  
整備事業費100億4千万円が計上される



大韓航空チャーター便 (2002年2月)

2003(平成15年)

- 3月19日 中国南方航空による初めての上海チャーター実施
- 12月28日 新規航空会社スターフライヤーが  
北九州市に本社を置き、新北九州~羽田線に就航  
する計画であることが明らかになる



2004(平成16年)

- 4月 5日 国土交通省が新北九州空港の開港は平成17年度末と発表
- 10月11日 新北九州空港旅客ターミナルビル着工
- 12月17日 国土交通省大阪航空局が、  
新北九州空港駐車場整備等事業の実施に当たり、  
PFI方式による実施方針を発表



韓国からの観光客



アシアナ航空チャーター便 (2003年10月)





新北九州空港建設・利用促進協議会設立総会（2003年10月）



航空・空港フォーラム in 北九州（2004年10月）



新北九州空港旅客ターミナルビル安全祈願祭（2004年10月）



第2工区地盤改良工事（2003年7月）



旧北九州空港の向こうに見える新北九州空港（2004年3月）



北側の進入灯橋梁工事（2003年10月）



アスファルト舗装で滑走路・エプロンが見えてくる（2004年6月）



連絡橋全景（2004年12月）

# 2005~2006.2

平成17年~平成18年2月

2005  
2006

## 新北九州空港開港直前

2005(平成17年)

- 4月 6日 | 国土交通省が新北九州空港の開港目標日を平成18年3月16日とすると発表
- 5月17日 | 佐川急便が、日本初のインテグレーター、ギャラクシーエアラインズを設立  
新北九州~羽田等の就航を計画
- 7月 | 国土交通省が新北九州空港の運用時間を5:00~2:00の21時間とする方針を福岡県及び北九州市に伝える
- 8月 4日 | 「ローコストエアラインシンポジウム2005in北九州」を開催
- 8月29日 | ジェイエア、北九州~名古屋(小牧)線の開設を決定
- 8月31日 | 中国南方航空、北九州と中国との国際便就航を表明
- 9月16日 | ウラジオストク航空、北九州とロシア・ウラジオストクとの国際便(季節運航)就航を表明
- 10月13日 | 国土交通省が、新規優遇枠の配分について、東京~北九州9往復分の配分をスターフライヤーに与える  
早朝深夜3便と合わせ、12便運航が事実上確定
- 12月20日 | 日本トランスオーシャン航空、北九州~沖縄線の開設を決定
- 12月26日 | 国土交通省が新北九州空港の運用時間を5:00~2:00の21時間とすることを正式決定

2006(平成18年)

- 1月12日 | スターフライヤーが、国土交通省から、航空運送事業に関わる事業許可を得る
- 2月26日 | 東九州自動車道の北九州JCT~苅田北九州空港ICが開通



北九州空港・港湾物流フォーラム (2005年2月)



ラッピングバスお披露目式 (2005年3月)



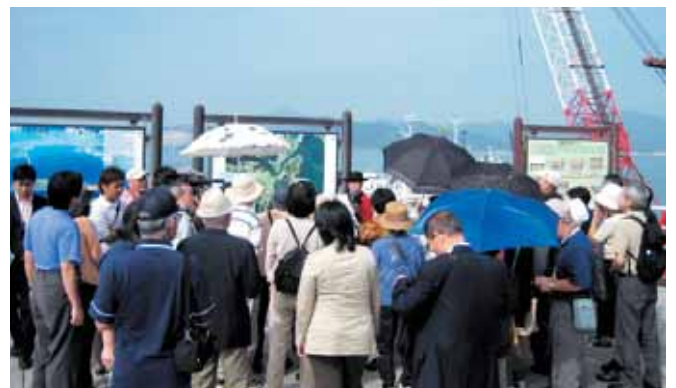
開港300日前「カウントダウン特大日めくりカレンダー」登場 (2005年5月)



開港300日前 筑豊電鉄ラッピング電車登場 (2005年5月)



開港200日前クルージング (2005年8月)



新北九州空港見学バスツアー (2005年10月)





うお〜く連絡橋 (2005年12月)



スターフライヤー機 試験飛行 (2006年2月)



新北九州空港マラソン大会 (2006年2月)



新北九州空港連絡道路開通式 (2006年3月)



建設中の新北九州空港旅客ターミナルビル (2005年10月)



滑走路試験点灯 (2006年2月)



苅田・北九州空港インターチェンジ (2005年8月)



滑走路など基本施設の整備が完了 (2005年10月)

2006

## 新北九州空港開港

2006(平成18年)

- 3月 6日 | 新北九州空港旅客ターミナルビル竣工
- 3月12日 | 新北九州空港開港記念式典
- 3月15日 | 旧北九州空港閉港
- 3月16日 | 新北九州空港開港
- | 日本航空が北九州～東京線にA300-600R(290席)を投入
- | スターフライヤーの北九州～東京線初就航
- | 日本航空の北九州～名古屋(小牧)線初就航
- | 日本トランスオーシャン航空の北九州～沖縄線初就航
- | マカオ航空による初めてのマカオチャーター実施
- | 日本航空ジャンボによる初めてのハワイチャーター実施
- | 家畜伝染病予防法に基づく動物検疫空港及び植物防疫法に基づく植物検疫空港の指定を受ける



新北九州空港旅客ターミナルビル竣工式



新北九州空港開港記念式典



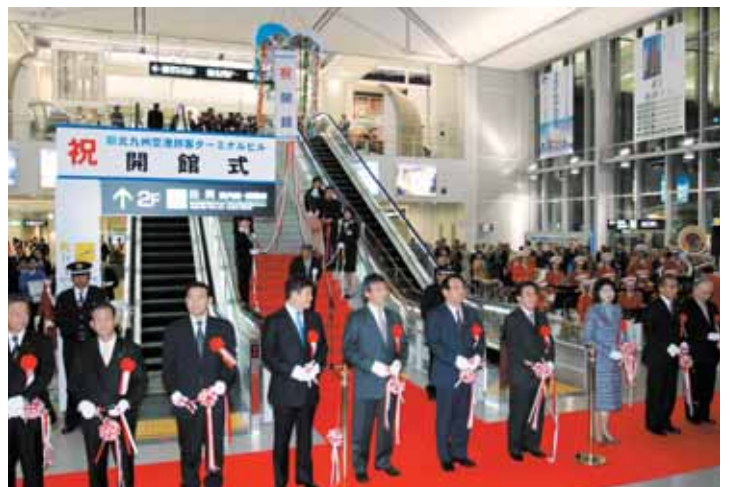
北側国土交通大臣(当時)



旧北九州空港閉港式



新北九州空港誕生祭



新北九州空港旅客ターミナルビル開館式



スターフライヤー・北九州～東京線初便式



ホノルルジャンボチャーター就航



日本航空  
北九州～東京線初便式



日本トランスオーシャン航空・北九州～沖縄線



マカオ航空チャーター便



日本航空・北九州～名古屋線



中国南方航空チャーター便



大連市民訪問団



新北九州空港開港

2006  
S

### 北九州空港の機能拡充へ

2006(平成18年)

- 3月26日 | 中国南方航空の北九州~上海・広州線初就航  
| 関税法に基づく税関空港及び  
| 検疫法に基づく検疫飛行場の指定を受ける
- 5月31日 | 出入国管理及び難民認定法に基づく「出入国港」の  
| 指定を受ける
- 8月19日 | ウラジオストク航空の北九州~ウラジオストク線  
| 初就航
- 8月22日 | 24時間運用を開始  
| 中国南方航空の北九州~上海線で  
| 北九州空港初の国際貨物取扱い
- 9月23日 | 「空の日」「空の旬間」事業の主要空港として  
| 「2006スカイフェスタ in北九州」を開催(~24日)
- 10月31日 | ギャラクシーエアラインズの深夜貨物専用便  
| (北九州~羽田線)初就航
- 11月 7日 | 日本航空がギャラクシーエアラインズ  
| (北九州~羽田線)の輸送スペースを一部買い取り、  
| JAL便名を付したコードシェア便として運航を開始
- 11月16日 | 新北九州空港建設・利用促進協議会と  
| 新北九州空港建設促進期成会を統合し、  
| 北九州空港利用促進協議会が発足
- 12月18日 | 空港乗降客100万人達成

2007(平成19年)

- 1月30日 | 上海路線増便(3月25日から毎日運航)を  
| 中国南方航空が表明



中国南方航空・北九州~上海定期便就航 (2006年3月)



中国南方航空



ウラジオストク定期便就航 (2006年8月)



ギャラクシーエアラインズ就航 (2006年10月)



アジアナ航空チャーター便（2006年3月）



チャイナエアラインチャーター便（2006年3月）



カンボジア航空チャーター便（2006年3月）



オムニエア・インターナショナルチャーター便（2007年1月）



オーストリア航空チャーター便（2006年7月）



カンボジア航空チャーター便（2007年2月）



2006スカイフェスタ in北九州（2006年9月）



来館者200万人達成（2007年1月）



新北九州空港ニュース



ポケットティッシュ



様々なパンフレット



テレホンカード



オリジナルうちわ



ピンバッジ

ネクタイピン



マウスパッド



日めくりカレンダー



ボールペン



名刺入れ

## 公募による新北九州空港シンボルマーク・キャッチコピー決定 2004(平成16年)

シンボルマーク

キャッチコピー



新しい空、新しい私。

## 新北九州空港PR隊が地域のイベントなどに参加 2005(平成17年)



かんだ港まつり



七夕飾りキャンペーン



元気まるかじりフェスタ2005



皿倉山清掃登山



若松みなと祭り



門司みなと祭り



わっしょい100万夏まつり



北九州空港利用促進協議会  
事務局

福岡県企画振興部空港対策局空港整備課内

〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号 TEL(092)643-3173 FAX(092)643-3174

事務局分室

北九州市港湾空港局空港企画室内

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号 TEL(093)582-2308 FAX(093)582-0181